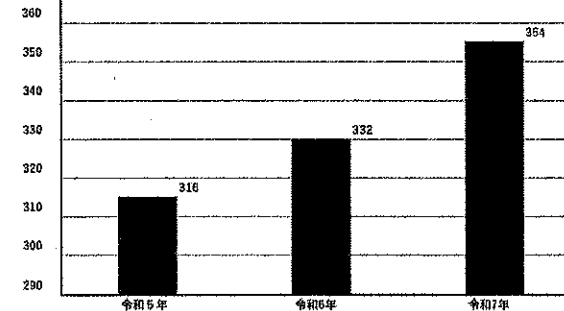


## 放課後等デイサービスと、障害と共に生きる子どもを支える地域環境について

狛江市地域自立支援協議会 子ども部会

## 放課後等デイサービスの利用数

狛江市における児童の支給決定数



増加傾向にあるのがわかります

## 狛江市の事業所紹介

### ■ウイングこまえ

- ・「学習体勢」「集団に合わせた行動」「社会的スキル」など常に療育の視点を取り入れた支援
- ・療育・心理・相談の専門家の見地からのサポート体制
- ・様々な外出などイベント活動による経験の獲得
- ・調理・買物等「生活スキル」を重視した自立に向けての支援
- ・送迎サービスの実施
- ・法人内で相談支援事業の実施
- ・ウイング・チャンネル (YouTube) で取り組みの発信



### ■ウィズ・ユー狛江

- 支援する3つのスキル
- お子さまが主役となり自発的に活動ができるように一緒に考えて行くスタイルです。
- ・生活スキル：あいさつ、片付け、お菓子作り、お金や時間の管理、電車やバスに乗ることもあります。
- ・社会的スキル：他人と共存することができるように複数人でコミュニケーションを圈ります。
- ・学習スキル：宿題はもちろん、計算・読み書きのプリントなど、レベルに応じて取り組みます。
- ・送迎サービスの実施
- ・モンテッソーリ教具を使用した教育の実施
- ・オリジナル療育アプリの配信実施

## 狛江市の事業所紹介

### ■こどもデイサービスすてっぷ

- ・ほっとできる居場所：学校でもない家庭でもない安心して自分らしくいられる場所になります。
- ・ポニーを介在としたわくわく楽しいプログラムと個別支援：ポニーとの活動プログラムや個別プログラムを計画し、心と体の発達を促します。
- ・仲間づくり：同年代や異年齢グループの活動を通し、仲間とのかかわりを広げていきます。
- ・グループ活動：ポニー&ファーム、臨床美術士とのアトリエ活動、プール療育、レゴクラブ、カフェ&お仕事体験
- ・個別活動：言語療法、作業療法、音楽療育、まなびや（学習支援、ソーシャルスキルトレーニングやコグトレも実施）、ポニー介在療育



## 粕江市の事業所紹介

### ■はっぴいハウス

障害の種類や程度を問わず受け入れ、さまざまな障害や病気を持った子ども達の放課後活動を行っております。どんな障害があっても、自分らしく自律した生活ができるように自立地域支援活動を行っております。

○放課後等デイサービス：放課後や休日に子ども達の年齢にあった学びと遊びの場をつくり、将来社会に溶け込めるように成長をみつけ、また楽しくリフレッシュしてもらう家族支援サービスです。

○居宅・訪問介護サービス：訪問介護員（ホームヘルパー）がお宅を訪問し、自立した安定した日常生活を送れますよう身体介護・生活援助を行うサービスです。

○移動支援サービス：利用者様が余暇や社会参加、必要不可欠な外出の際にガイドヘルパーの資格を持つ専門のスタッフが移動の支援を行うサービスです。



## 粕江市の事業所紹介

### ■スタジオそら喜多見

・1対1を基本とし、子どもが楽しみながら課題にチャレンジできる発達支援療育を提供しています。

・サービス種類：個別療育（週末に野外の小集団活動やイベントもごさいます）

・プログラム：粗大運動、微細運動、ソーシャルスキルトレーニング、学習支援などを組み合わせて、おさま一人ひとりの課題に合わせた支援を行います。

・オリジナル療育アプリの配信実施



### ■ゆめぼっと

・言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士、教員免許保持者、児童指導員等、各専門職が行う様々な個別クラスでの支援と少人数で行うグループ活動。

・1時間以内の短時間利用がメイン。

・保育所等支援事業の実施



### ■川崎市の事業所

- ・シュウエール
- ・プロッサムジュニア
- ・ハッピーテラス

### 放課後等デイサービスとは

「放課後等デイサービス」とは、支援を必要とする児童(小学生から高校生まで)が、学校の授業終了後や休校日などに通うことができる支援サービスです。

主に、発達障害や身体障害、知的障害などのある子ども達に対して、放課後や休日に安全で充実した時間を過ごせるようにサポートを提供します。

このサービスでは、子どもたちの個別のニーズに応じた支援が行われ、学習支援や遊び、社会性の向上を目的としたプログラムが提供されます。

また、保護者が仕事をしている場合や、他の理由で家庭でのサポートが難しい場合に子どもたちを預けることができる場所としても活用されています。

○様々な資格を持つスタッフがおります  
例・児童指導員 ・作業療法士  
・保育士 ・理学療法士  
・言語聴覚士 ・心理士



### 放課後等デイサービスとは

■具体的には、以下のような支援が行われます。

- ・宿題や学習支援
- ・運動や遊びを通じた身体的な成長支援
- ・ソーシャルスキルやコミュニケーション能力の向上を目指すプログラム
- ・集団での活動を通じた社会性の向上

※放課後等デイサービス利用には、各自治体が発行する受給者証が必要となります。サービス内容や支援方法には地域によって異なる点もあります。

### 受給者証取得するには…

■基本的に、保護者の居住地の市に申請。

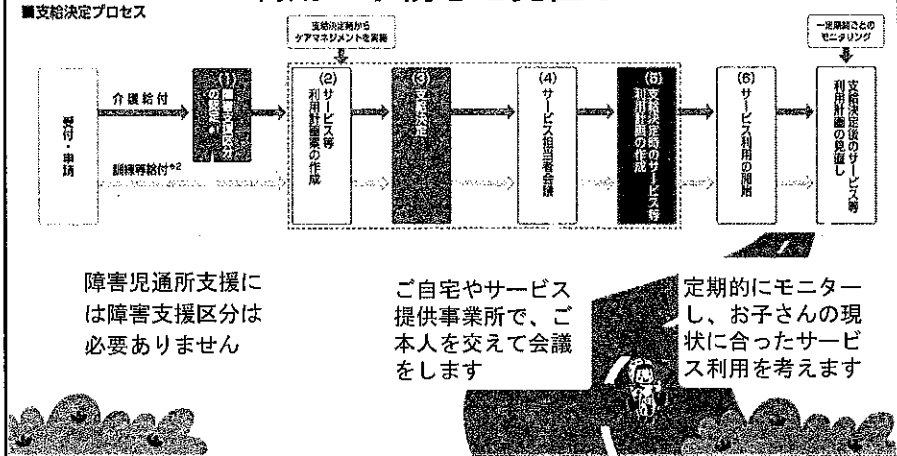
・狛江市の場合は、新規・小1、中1、高校1のタイミングで、以下の根拠資料を最低1点提出をお願いします。

- ①医師の診断書
- ②公的な機関発行の意見書等

→民間福祉事業所の意見書はNG。医療機関ならOK。  
教育センターはOK（児童発達支援センター同様）

**障害手帳所持者であれば、資料なしでもOK。**  
(※受給者証取得目的の教育センター相談はNGかと…)

### 利用の手続きと見直し



### 教育と福祉の連携の未来

■関わる場所は違いますが同じ「子ども達の成長に関わる者」として、身近にやりとりできると「指導方法の相談、地続きの関わり」に繋がるのではないのでしょうか。

例

- ・学校での経験や事業所が得ている情報を先生方と共有。
- ・本人が抱える課題を一緒に考え解決方法を探る。

### 教育と福祉の連携の未来

どのような連携の期待ができるか、さらに具体例を挙げてみます。

- 行事等、授業以外のイレギュラーな時間を過ごすことについて不安を抱えていた担任の先生と、事前に具体的な対応方法を協議し、当日を過ごすことができた。
- 担任の先生が抱えていた本人の課題（部屋から出て行って困っていた）を放デイスタッフに相談していただいた。本人の課題と対応を校内で共有してもらうことで、学年全体での対応に繋がった。
- 検査結果を提示し、本人の特性を具体的に担任の先生に伝えることで、校内での指導の際に、参考にいただいた。

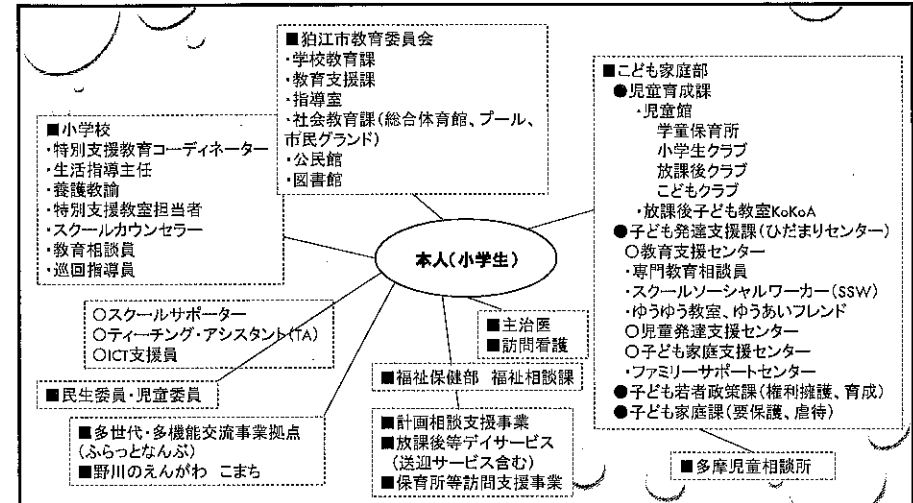
## 教育と福祉の連携の未来

■授業の「隙間時間」、座ってられない。自閉症スペクトラム特性をお持ちの児童。

- 放デイでの過ごし方の経験から「シール貼り」を担当の先生に提案。
  - 先生がシール貼りをアレンジし、本人が好きなカーズのマグネットシートを（約40個）はめ込んで行く教材を作成。
- 我慢して座っているのではなく、自分から取り組める事で過ごすことに繋がった。

その他

■睡眠障害を抱えているお子さんが授業に参加できなかった場合、学校と福祉が保護者と連携し、ドクターの見地から服薬や処方を行ってもらい登校を継続できるようになった。



ご清聴ありがとうございました。

狛江市地域自立支援協議会 子ども部会